

令和4年度総合知財戦略ハンズオン支援調査事業（事業概要）

- 東北管内の地域未来牽引企業等を中心とする中堅・中小・スタートアップ企業を対象に10社を選定し、知財のコンサルタントが各社の知的財産に関する課題の把握・整理を行った上で、課題解決に向けた戦略づくり（アクションプランの作成）の支援を実施。
- 10社のうち3社については、弁理士等の専門家を派遣して、アクションプランの実行支援を実施。

実施内容・形式

対象企業の募集・事前ヒアリング

- ① 支援対象企業を公募により募集（10社）
- ② 応募企業に対して、事業概要、主力事業、知財権の取得状況、知財管理体制の確認等、基礎的な情報をヒアリング（電話またはオンライン会議）

課題の明確化

- ① 支援対象企業にコンサルタント等を派遣してヒアリングを実施（原則として訪問、状況に応じてオンライン会議）
- ② ヒアリング内容をもとに、企業の課題を明確化し、経営デザインシート（※）を作成
（※）技術・ブランド等の企業が有する無形資産を棚卸しし、市場など外部環境も踏まえ、新たな価値創造のための戦略を整理・分析するフレームワーク。
- ③ 企業の課題に応じて、今後行うべき知財活動に関するアクションプランをコンサルタントが作成

アドバイス・提案

- ① アクションプランを提示し、企業に対して知財活動に関するアドバイス、提案を実施
- ② 対象企業の意向も踏まえ、弁理士等の専門家も含めたアクションプランの実行支援、パテントマップの作成を実施（3社）

（※）支援の実施に際しては、年度を跨いだ継続的な支援を見込んで、(独)工業所有権情報・研修館の「知財総合支援窓口」の支援担当者の同席も予定。

事業スケジュール（予定）

支援企業の公募・事前ヒアリング
（7月）

コンサルタントによるヒアリング及び
アクションプランの作成（8月～）

アクションプランの提示（9月～）
アクションプランの実行支援（11月～）
※実行支援は3社のみ